

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会
〒194-8520 東京都
町田市森野 2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



インターンシップ好評

第1回定例会は日程が他と相違

2/19～3/29の長期間の議会日程

令和3年の第1回定例会は、2月19日に始まり、3月29日までの長期間の日程となっています。その特徴は、当初予算審議が優先審議され、上程後にまず、全会派の代表質疑と言うスタイルで疑問をただし、中盤に4委員会日程がそれぞれ複数日設定されています。私は建設常任委員会に昨年より所属しています。



市長に自由なテーマで尋ねることができる、一般質問は3月15日から5日間の日程です。前の議会では、正副議長を除く、34名の議員がそれぞれに質問を行いました。全国的に30名以上の議員が全員連続して質問するのは極めて珍しいことです。市長の「施政方針」に関して、会派質疑、個人の一般質問の双方で議論されます。通常のスケジュールでは、定例会の開始早々に一般質問となりますので、どの議員もその準備となりますが、今回は議案が配布されて質問項目を提出するまで半月以上の余裕があることとなります。その後、各常任委員会が開かれ、一般質問は、それらの議論が全部終了した後の日程となります。住民請願は、2月19日に締め切られ、各委員会で審査されるまでの日程も20日間ほどの空きが期間が生じることとなります。

清掃工場の電力販売（売電効果）

多摩ニュータウン環境組合議会の定例会に出席し、予算に関して2項目を尋ねました。1項目は、電力収入の増加に関するものでした。この種の清掃工場はゴミの焼却でボイラーを使用して電気を発生しますが、その余剰分を「売電」しています。

答弁によると、多摩清掃工場の売電価格は入札で決定されており、工場の設備設置者である「日立造船」が電力販売業者として落札しているとのことでした。旧来の価格は単価8円であったものが、実際の契約単価は、10円となっており、今期の予算編成では単価10円としたとのことでした。その売電量は、1,000-2,000kw/h前後になるとの説明でした。こうした売電単価は、昼・夜あるいは夏・冬で異なっており、電力需要が多い時は高く、少ない時は安く設定され、その平均値での説明でした。ちなみに、施設が電力業者から「買電」する場合は15円となっているとのことでした。この売電は、予算の収入項目の一つであり、その結果、構成市（多摩市全域、八王子市と町田市の一部）の負担金が減るシステムになっています。是非、その努力を広げてもらいたいと思っています。



◎消費税をゼロ%に転換することが国家の急務課題。国が動かないなら地方から声を起こしていこう！コロナの第4波を避けるため、医療対策優先し、オリンピックを中止しよう！

定例会は2月19日のスタートですが、議員は各自で会議の質問準備に入っています。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若い世代の育成に全力をささげる



ブログ HP
メールは
左記を読込
して送信



インターン生募集中

インターンシップの参加世代①

町田市議会議員 吉田つとむのインターンシップの参加世代は、幅が広がっています。上は、大学院生が参加しています。特徴は、学問研究の一環と言うより、間もなく社会に出るに当たって、政治家のインターンシップに参加し、社会人との幅広い交流を行いたいという趣旨のものでした。学業はとても進んでいる特徴が出ていましたが、それで企業に入ってから、研究成果を発揮するか、できるかを考えてのことでした。順調に就職が決まり、元気に働いてくれていることです。新型コロナ感染が広がって以降の状況は聞いていませんが、産業分野から推測するとより業務が多くなっていることでしょう。

また、大学4年生で研修を受けた学生もいます。2種類の学生が参加しましたが、大学院に進む前の学生は、もうすでに、社会人として活躍をしているところですが、資格をとってその才能を更に磨いています。うれしい成長です。また、4年生を迎えた学生は、就活時期にインターンシップに来た学生がいました。決めるチャンスを逸したという状況でした。その翌年には、企業の就職が叶っていますので、これからは50年近く働く時代なので、1年の遅れは大勢に影響しないでしょう。

1年の遅れは大勢に影響しないでしょう。



遠くの自治体まで出
かけ、中央省庁
出身の官僚に質問を
出した経験を活かした
研修の一日

オリ大会理事会の女性差別と薄い問題意識



森オリ大会会長が、その会議において、「女性は話が長く、発言時間の制限も必要」と言う趣旨の発言でひんしゅくを買いました。本来は、その会議の場で取り消されるべきでした。後で撤回したことで、IOCは問題無しとしましたが、更に後になって、あってはならない発言と批判の側になりました。

国会も巻き込んだ発言になっていますが、オリンピックの開催を至上命題とする側は、批判のトーンが低く、政治の主導権を取りたい側は、何とせよ「森会長」辞任を要求する立場を強調しています。政府と自民党の最高幹部は「森会長」の辞任を回避したい立場ですが、その様相も徐々に明らかに後退しています。要するに、自分は、女性差別の視点は無いとする必死の立場が菅総理の発言にも表れています。

最終的には、オリンピックの理事会が決めることと言うスタンスが政治家の当面の在り方でしょう。このままいけば、東京オリンピックは女性差別の象徴とされることを回避したいということだけを逃れようという大会になってしまいます。今回は、新型コロナの感染を新たに引き起こす機会を減らすことを最優先する視点で、大会の見送りが相応しいと思います。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

今回の議会報告も、いわゆる政務活動費を一切使わずに、自主的に発行しているものです。